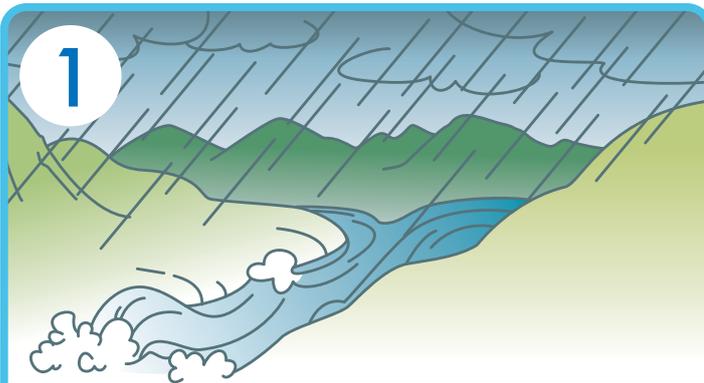


洪水発生メカニズム①

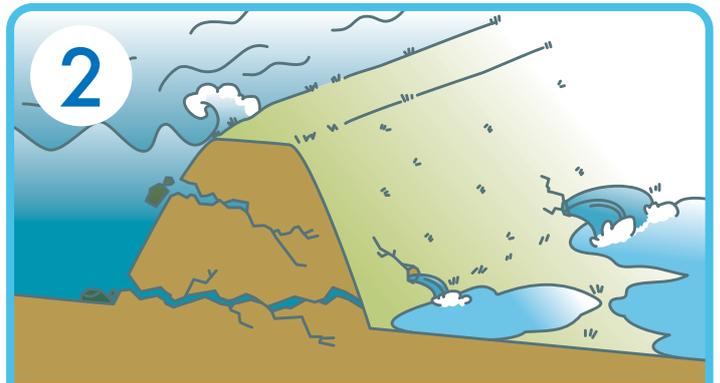
洪水とは豪雨によって河川の水量が急激に増加し異常な流量になることを言います。堤防が破堤したときには、水の力は非常に強いので、避難の時期を失わないよう早めの対応が必要です。

またこの地図には表現されていませんが、豪雨による浸水現象には河川の堤防決壊だけでなく、平地であっても排水不良等から発生することもあるので注意しましょう。

(外水氾濫)



大雨や雪解けによって、川の水の量が増え、水かさが増え始めます。



堤防いっぱいまで水が増えると土でできた堤防に水の圧力がかかり始めます。



水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなると堤防の一部が崩れ始めます。



堤防の崩れた場所をとって、勢いよく水が流れ出し、家に襲いかかります。



堤防から流れ出した水は、場所によっては家を破壊したり、車を浮き上がらせたりしながら広がります。水が浸水して来るとすぐ水かさが高くなり、歩行が困難になります。